



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年08月18日 第1230「週刊五十嵐レポート」

踊り場

「踊り場」とは。一つは、階段の途中に設けられた、やや広くて平らな場所を指す建築用語。もう一つは、経済用語で、景気回復局面で一時的に停滞する状態を表す言葉。また、「人生の踊り場」は、人生の階段を上る途中で、一時的に立ち止まって振り返ったり、休息したりする時期のこと。順調に進んでいたと思っていたのに、急に足が止まってしまうような感覚。しかし、それは決して悪いことではなく、自分を見つめ直したり、今後の進むべき道を再考したりする貴重な機会である。

8月13日付日経新聞、「急成長でガバナンス不全露呈」という記事。菓子大手シャトレーゼHD(山梨県甲府市)がガバナンスの強化を急ぐ。創業者が他界して1年。相前後して外国人雇用を巡る問題や下請法違反などが次々と露呈した。売上高1000億円突破後の急成長に管理体制が追いついていない。

シャトレーゼ社長は、「現在は成長ペースを抑え、経営基盤の再構築を優先する。事業規模に見合ったルールやマニュアルを整備し、手薄になった間接部門は数十人規模を採用して経営の攻めと守りのバランスを整える」と。

3月27日付、下請法違反に対して、「当社の下請法に関する認識の不足、今後は法令を遵守し、公正で健全な取引環境の構築に努める」。

5月2日付、特定技能外国人をめぐる改善命令について、「就業にあたっての方針やガイドラインの確認、チェック機能の強化など再発防止策を徹底して実行していく」。

5月22日付、労働基準法違反に関して、「従業員の健全な労働環境の整備に向け、さらなる取り組みを進めていく」。

8月12日付、取引先の支払い条件について、「支払いサイトを60日以内に変更済み。今後は取引先に安心していただけるよう改善を進める」。

シャトレーゼは今、「踊り場」にいる。今後どうなるか、期待してみよう。しかし、テレビCMではないが、「そこに愛はあるんかい」と言いたい。急成長企業は、要注意。

ちょっと
気になる出来事

8月15日付日経新聞、「コーヒー 米関税で中国へ」という記事。

トランプ関税によってコーヒー豆の貿易地図が塗り替わろうとしている。最大生産国のブラジルが、最大消費国の米国から消費が伸びている中国へ主要輸出先の切り替えに動く。

米国では、コーヒーの国内価格が上がり続けている。1年前に比べて3割高くなっている。既にコーヒー消費が鈍化している。ブラジル産以外も関税自体は上がったため、米国の消費者は今後さらなる価格上昇に直面する。

中国は、近年コーヒー消費が急増している。都心部の若者を中心に人気を集め、安価なコーヒーチェーン店が台頭、この4年間で消費量は3割増。

ブラジル産コーヒー豆の輸出先は、1位米国、シェアは17.1%、2位ドイツ、12.3%、3位イタリア、8.1%、4位日本、6.4%、5位ベルギー、6%。中国は11位、2.7%。中国は米国の1/6。大量のブラジル産コーヒーが行き場を失う可能性がある。相場の下げ圧力は強まる。

コーヒー愛飲家としては、コーヒー豆が安くなるのはいいのだが...



一口メモ
知識

能力と努力

リアリストである孔子は個人の能力差を認めていた。

しかし、能力差を絶対視して格差社会を認めていたのではない。

有能な者は未熟な者を導き助け、未熟な者は有能な者を手本に努力する。そうした相互協調による社会全体の道徳向上と社会融和の実現こそが孔子の目標だった。

孟子は「人が『出来ない』と言っているのは、出来ないではなく『しない』のだ」と述べているが、

孔子も「出来ない」と称して努力「しない」ことを繰り返し諫(いさ)めている。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

